

# 資料

資料

## ① 部活動の方針

### 〇〇年度 〇〇立〇〇学校 部活動運営方針（例）

#### 1 ねらい

- (1) 異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教員等との好ましい人間関係の構築を図る。
- (2) 学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養等を図る。
- (3) 興味・関心を同じくする異年齢集団における活動を通して、リーダー性、協調性等の社会性を育む。
- (4) 生涯にわたって運動文化・芸術文化に親しもうとする態度や、その基礎を養う。

#### 2 活動内容

##### (1) 運営について

- ① 顧問、学級担任、保護者等が連携し、円滑な運営を心がける。
- ② 必要に応じて部活動顧問会議等を実施し、部活動運営における意志の疎通に努める。
- ③ 定期的にキャプテン・部長会議、部活動集会等を開催し、努力目標などの共通化・意識化を図る。
- ④ 部活動懇談会を開催し、保護者と顧問による円滑な運営について共通理解を図る。
- ⑤ 部活動全体の推進を図るため、校内に部活動担当教員を配置する。

##### (2) 活動について

- ① 活動方針、活動計画等に沿って、計画的に活動する。
- ② 活動計画は、概ね翌月が始まる2週間前までに作成し、生徒及び保護者等に配付する。
- ③ 原則として、顧問がついて指導にあたる。（出張等で不在の場合は、責任の所在をはっきりさせる）
- ④ 安全管理には十分留意した活動を行うとともに、けが等が起きた場合は、速やかに処置を行い、適切に対応する。
- ⑤ 使用する設備の点検及び整頓・清掃、校舎の施錠等は顧問が責任をもって行う。

##### (3) 休養日について

- ① 学期中は、週当たり2日以上休養日を設ける。  
平日は少なくとも1日、週末は少なくとも1日以上を休養日とする。  
週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。
- ② 長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。また、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。

##### (4) 活動時間

- ① 1日の活動時間は、長くとも学期中の平日では2時間程度、学校の休業日は3時間程度とする。
- ② 朝練習の時間帯は7:20～8:00までとする。（7:10より早く登校しない）また、活動の際には顧問がつく。

③ 活動終了時刻および下校完了時刻は、次のように定める。

時期	4/8~8/31	9/1~9/30	10/1~新人戦	新人戦~10/31	11/1~1/7	1/8~1/31	2/1~2/28	3/1~4/7
活動終了時刻	18:15	17:45	17:30	17:00	16:45	17:00	17:15	17:45
下校完了時刻	18:30	18:00	17:45	17:15	17:00	17:15	17:30	18:00

- ※ 活動終了時刻には後片づけに入り、下校完了時刻までに校門を通過する。
- ※ 学級の活動は、一般下校時刻(帰りの会終了後10分)までとし、部活動に参加する。
- ※ 活動時間の延長は、保護者の承諾・職員会への届けをもって、学校長が許可する。
- ※ 活動時間延長の申請は、大会一週間前からとし、延長時間は1時間以内とする。
- ※ 時間厳守は、生徒指導重点目標のため、守れない場合は、活動停止措置もある。

#### (5) 服装について

- ① 活動の服装は、制服または体操服および、部で揃えた練習着とする。防寒着の着用は12月~2月までとする。
- ② 部単位で購入した防寒着は、登下校時の防寒着として使用できる。

#### (6) 入部・転部・退部について

- ① 入部は希望制(任意加入)とするが、部活動の目的・方針を踏まえ積極的に入部を促す。
- ② 1年生は仮入部・体験入部に参加し、自らの適性を考慮し、3年間続けられる部を選択する。
- ③ 仮入部・体験入部期間における、放課後の活動は16:40までとし、17:00を完全下校とする。
- ④ 原則として3年間同一の部で活動するものとする。
- ⑤ やむを得ない転部・退部は顧問・担任・家庭との十分な話し合いの上、決定する。
- ⑥ 社会体育団体・社会教育団体に所属する生徒も、希望があれば入部できる。

### 3 その他

- (1) 規律違反その他好ましくない状況があった場合には、一定期間活動を停止させることがある。
- (2) 活動停止の決定は、部活動顧問会議で討議の上決定し、生徒・保護者に連絡を徹底する。
- (3) 部の休部・削減については、部員数確定後、部活動顧問会議等で討議の上立案し、学校長が決定する。
- (4) 活動予算は、生徒会・後援会予算より計上され、年度初めに提示する。
- (5) 3年生の活動は、秋季県体・文化祭をもって引退とする。その後の活動は、保護者の承諾を得ることとする。
- (6) 定期テストの一週間前からは活動中止とする。特別な事情がある場合は職員会の了承を得て許可する。
- (7) 各部が個別に徴収する部費等については、保護者等に対し、決算報告等を行うものとする。

## ② 部活動の年間活動計画

〇〇年度	〇〇部	年間活動計画(例)			
顧問	〇〇 □□				
部長	3年B組 氏名 △△ ☆☆				
活動目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あいさつや礼儀を大切に、けじめをもって取り組む。</li> <li>○ 常に向上心を持ち、最後まであきらめずに、一生懸命努力する。</li> <li>○ チームにおける個々の役割を考えて、自主的に行動する。</li> <li>○ 文武両道の精神で、日常生活と部活動にバランスよく取り組む。</li> <li>○ チーム全員で、全国大会出場をめざす。</li> </ul>					
月	活動内容および大会等	場所	月	活動内容および大会等	場所
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇リーグ第3,4節</li> <li>・〇〇市体育大会 4月13日(土)から ゲーム形式の練習・組織の構築</li> </ul>	〇〇市 〇〇市	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・□□県体育大会 10月5日(土)から</li> <li>・〇〇市新人大会 10月12日(土)から</li> </ul>	〇〇市 〇〇市
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春季体育大会 5月18日(土)から</li> <li>・〇〇リーグ第5,6節</li> </ul>	〇〇市 〇〇市	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇市駅伝大会(1チーム参加予定) 基礎練習・体力づくり期間</li> </ul>	〇〇市
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇市選手権予選 6月8日(土)から</li> <li>・〇〇リーグ第7節</li> </ul>	〇〇市 〇〇市	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・★★大会 12月22日(日)から</li> <li>・〇〇リーグ後期第1,2節</li> </ul>	〇〇市 〇〇市
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県選手権大会 7月23日(火)から</li> <li>・〇〇市体育大会 7月26日(金)から</li> <li>・★★サッカー大会7月28日(日)</li> </ul>	〇〇市 〇〇市 〇〇市	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・▲▲地区駅伝大会(3チーム参加予定)</li> <li>・〇〇リーグ後期第3,4節</li> </ul>	〇〇市 〇〇市
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・□□市陸上競技大会(希望者のみ)</li> <li>・△△ブロック大会 8月2日(金)から</li> <li>・☆☆合宿8月8,9,10日3日間</li> <li>・全国〇〇大会 8月17日(土)から</li> </ul>	〇〇市 〇〇市 〇〇市 〇〇市	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・◇◇招待サッカー大会 2月15日(土)</li> <li>・〇〇リーグ後期第5,6節 個人・集団戦術、体力づくり期間</li> </ul>	〇〇市 〇〇市
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審判講習会 9月14日(土)</li> </ul>	〇〇市	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇リーグ後期第7節</li> <li>・★★サッカー大会3月28日(土)から</li> </ul>	〇〇市
その他必要事項					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>					

### ③ 部活動の月間活動計画

<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">〇〇部</div>					<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">〇〇部</div>					
〇月 活動計画(例)      〇〇年〇〇月〇〇日 〇月の部活動終了時刻 〇〇時〇〇分      下校完了時刻 〇〇時〇〇分					〇月 活動実績(例)					
*予定が変更になることがあります。ご了承いただきますようお願いいたします。										
日	曜日	行事・大会等	活動等	活動時間帯	備考(準備物・経費・集合時間等)	日	曜日	活動等	計画の変更理由・内容等	実活動時間
1	月		X	~		1	月	X		0
2	火		0	~		2	火	0		2
3	水		0	~	選手登録料500円提出済み	3	水	X	臨時職員会議のため部活動中止	0
4	木		0	~		4	木	0		2
5	金		0	~		5	金	0		2
6	土		0	~	〇〇学校グラウンド	6	土	0		2
7	日		X	~		7	日	X		0
8	月		X	~		8	月	X		0
9	火	始業式	0	~		9	火	0		2
10	水		0	~		10	水	0		2
11	木		0	~		11	木	0		2
12	金		0	~		12	金	0		2
13	土	市内春季体育大会	大会	~	〇〇学校グラウンド、弁当持参	13	土	大会		6
14	日	市内春季体育大会	大会	~	〇〇学校グラウンド、弁当持参	14	日	大会	準決勝敗退のため午前で解散	4
15	月	全国学力学習状況調査	X	~		15	月	X		0
16	火		X	~		16	火	X		0
17	水		0	~		17	水	0		2
18	木		0	~		18	木	0		2
19	金		0	~		19	金	0		2
20	土		0	~	〇〇学校グラウンド	20	土	0		3
21	日		X	~		21	日	X		0
22	月		0	~		22	月	0		2
23	火	家庭訪問①	X	~		23	火	X		0
24	水	家庭訪問②	X	~		24	水	X		0
25	木	家庭訪問③	X	~		25	木	X		0
26	金	家庭訪問④	X	~		26	金	X		0
27	土		練習試合	~	VS〇〇学校、〇〇グラウンド	27	土	X	雨天のため中止	0
28	日	昭和の日	X	~		28	日	X		0
29	月	振替休日	X	~		29	月	X		0
30	火	退位の日	0	~	〇〇学校グラウンド	30	火	0		3
				~						
【来月の主な活動予定】 ○ 県春季体育大会 5月18日(土)19日(日) ○ 〇〇リーグ第5、6節 ○ 練習試合 VS〇〇学校 5月25日(土)予定					【連絡事項】 遅刻・欠席の場合は、必ず顧問に連絡をお願いします。また、顧問の連絡先は後日お知らせします。 (連絡先) 学校:〇〇-〇〇〇〇			【備考欄】		
○ 練習日数(計画)		15		○ 練習日数(実績)		14				
X 休養日数(計画)		12		X 休養日数(実績)		14				
大会日数(計画)		2		大会日数(実績)		2				
練習試合日数(計画)		1		練習試合日数(実績)		0				
				実活動時間数		40				

資料

#### ④ 部活動の約束

生徒の健全育成、規範意識、帰属意識、能力・個性の伸長、ボランティア精神の育成などが顧問の役割だと考えています。生徒たちは、部活動での「約束事」を決めて取り組んでいます。  
(高等学校 顧問)

### 〇〇高等学校 〇〇〇〇部 10か条

- 1 部員である前に本校の生徒であることを忘れない。
  - ・学校の規則を守り、授業をしっかり受ける。
- 2 仕事をしっかりする。
  - ・指示された仕事をするのは当たり前。自分で仕事を探す。
- 3 あいさつをする。
  - ・先生、OB、来校者、地域の方々にしっかりあいさつをする。
- 4 返事をする。
  - ・声に出して「はい」、「いいえ」をはっきり言う。
- 5 練習場所はいつもきれいにする。
  - ・体育館は、練習の前後に必ずモップがけをする。
- 6 部室を大切に使う。
  - ・部室は学校から借りたものという意識をもつ。
  - ・部室はいつも整頓してきれいに使う。
- 7 時間厳守（有効活用）
  - ・練習開始時刻を守る。集合・移動は駆け足で行う。
- 8 欠席の場合は連絡をする。
  - ・急に休むことになった時などは、必ず連絡する。
- 9 物を大切に作る。
  - ・ユニフォーム、ボール、シューズ等は大切に扱う。
  - ・紛失しないように部員全員で気を付ける。
- 10 身だしなみをきちんとする。
  - ・強いチームは服装でわかる。ユニフォームをきちんと着る。

いつも「全力」、みんなで「協力」、自分の仕事に「責任」をもとう！

## ⑤ 自己点検健康管理シート

### □ 健康管理の方法例

#### 自己点検健康管理シート

氏名 \_\_\_\_\_

平成 年 月 日 ( )		天候 ( )	
昨夜の就寝時間	時 分	これでよいと	( 思う・思わない )
今朝の起床時間	時 分	これでよいと	( 思う・思わない )
睡眠時間	時間	これでよいと	( 思う・思わない )

- 1 朝食をしっかりと ( とった・とらなかった )
- 2 練習開始時刻に遅刻 ( しなかった ・ した )
- 3 練習内容を理解して取り組むことが ( できた・できなかった )
- 4 練習に集中して取り組むことが ( できた・できなかった )
- 5 リフレッシュ時に切り替えが素早く ( できた・できなかった )
- 6 積極的に声を出して雰囲気盛り上げることが ( できた・できなかった )
- 7 スタミナを付けることを意識して走ることが ( できた・できなかった )
- 8 今日の練習で良かった点

- 9 今日の練習で改めたい点 (反省すべき点)

## ⑥ メッセージノート、自己評価カード

### □ 心と心をつなぐメッセージノートの例

平成 年 月 日 ( ) 天候 ( ) 氏名		
仲間の素晴らしさ	課 題	先生の話 (心に残ったこと)
保護者から		
先生から		

### □ 自己評価カードの例

部		年 組	番	氏名				
No.	項 目	評 価						
		1 週	2 週	3 週	4 週	5 週		
1	活動の始めと終わりの時間を守ることができましたか？							
2	あいさつや返事が大きな声でできましたか？							
3	自分のめあて (課題) をもち、活動できましたか？							
4	自ら進んで (やらされることがない) 取り組みましたか？							
5	「あ、わかった」「ああ、そうか」と思ったことがありましたか？							
6	技術や体力を伸ばすことができましたか？							
7	仲間と力を合わせて仲よくできましたか？							
8	用具の片付けがテキパキとできましたか？							
9	先週の部活は楽しく充実していましたか？							
10	健康・安全に注意して活動できましたか？							

\* 次の基準で評価し、点を記入すること (活動日数が4日以下の場合は、基準が異なる。)

1週間のうち、5日以上できた・・・5点  
 3日～4日できた・・・3点  
 1日～2日できた・・・1点  
 1日もできなかった・・・0点



⑦ 指導日誌

□ 指導日誌の例

指導する立場の顧問としての日誌であり、部員一人ひとりの実態を把握するとともに、練習計画の改善や効果的な指導に生かすことができます。

指 導 日 誌

平成 年 月 日 ( )	天候		練習場所	
欠席・遅刻・早退 (理由)			健康 状態	
練習時間		来校者		
練習内容 (試合結果等)				
部員の変容の記録				
指導の反省・課題				

## ⑧ 個人カード

### □ 個人カードの例

指導日誌とともに、顧問が活用するものであり、学級担任との連携を密にし、進路指導、生活指導をしていく上での資料となり、競技成績等を記録として残すことにより、今後の指導に生かしていくことができます。

また、部活動中の事故などの緊急の場合に活用することができます。

## 個人カード

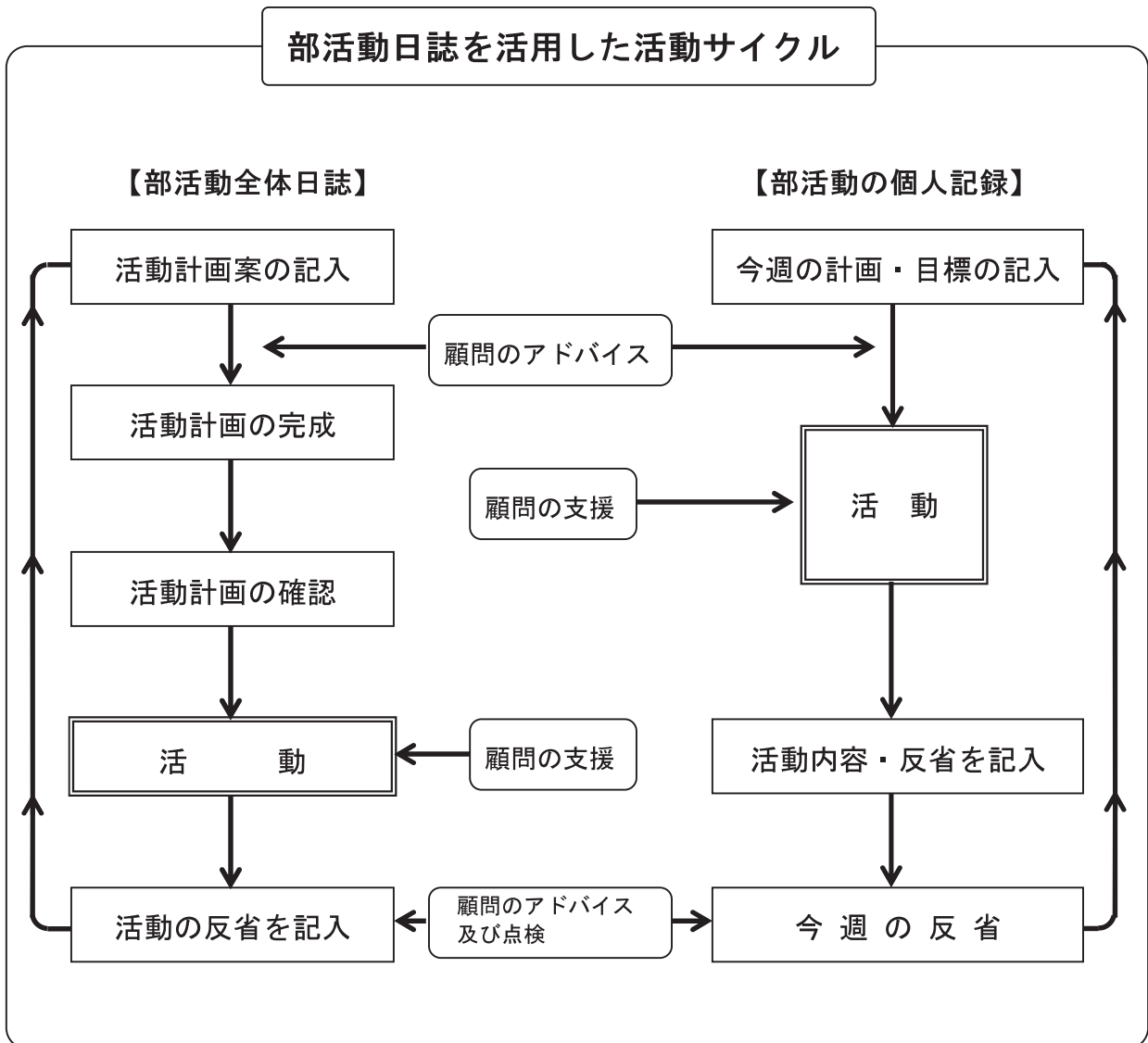


1年 組 番 担任		ふりがな 氏名	家庭緊急連絡先		
2年 組 番 担任			_____		
3年 組 番 担任			年 月 日生	TEL ( ) -	携帯 - -
出身校	中学校	競技成績(中学)			
目標			進路希望		
高1年	競技成績			学習の状況	
高2年					
高3年					
通学方法		距離	約 km	時間	時間 分
* 自宅付近の略図 (最寄りの公共物を明示する)					

## ⑨ 部活動日誌及び個人日誌の活用

次の図は、部活動全体日誌と部活動の個人記録（個人日誌）を活用した、主体的な活動のためのサイクルを表したものです。

部活動全体日誌では、活動計画の立案の際に、顧問が関わり、合理性や効率的な面を考えてアドバイスします。決定した活動計画は、ミーティングでキャプテン（部長）を中心に部員全体で確認します。活動時にも適宜アドバイスを行います。生徒の自主性を尊重する意味からも指示的なことはできるだけ少なくするよう心がけることが大切です。活動後のミーティングや日誌の点検においても、次回の活動において、個々の課題解決のためのヒントをアドバイスしたり、悩み事の相談に応えたりすることが大切です。



## ⑩ 新入部員オリエンテーション資料

### □ 新入部員オリエンテーション資料の例

新入部員に対して、入部時にしっかりとオリエンテーションを実施することで、生徒は安心して活動を開始することができます。部活動紹介の一貫として、先輩たちの思い、顧問の指導・援助の方針も伝えていく必要があります。

#### □□中学校 吹奏楽部員として

新入生オリエンテーション資料 1

ようこそ吹奏楽部へ！上級生一同、顧問、心から歓迎します。

さて、皆さんは「□□中学校吹奏楽部」の正式なメンバーです。この吹奏楽部には、他にはない特徴がたくさんあります。ここに書いてあることは、どれも吹奏楽部員にとって大切な心構えばかりです。卒業するまで、心にとどめておいてください。

#### (1) 自覚と誇り

私たち吹奏楽部は、入学式や卒業式、体育祭や文化祭などの学校行事で演奏の機会を与えられています。すなわち、学校や地域から、絶大な信頼を寄せられているのです。

「自分は吹奏楽部の一員なんだ！」という自覚と誇りを忘れず、力を合わせて誰からも愛される部をつかっていきましょう。そうした自覚と誇りがあれば、ルールを守り、マナーを大切にすることも当然のこととしてできるはずです。

#### (2) 優しさと思いやり

吹奏楽部はみんなが協力して一つの音楽をつくりあげる部活動です。他人の気持ちを尊重し、大切に思う思いやりが必要です。他人を無視するとか、いじめるとかはもちろんのこと、悪口や陰口を言うなど論外です。困っている人に進んで手を差し伸べてあげられるような優しさをもつ人が、聴く人の心を感動させられる、素晴らしい音楽を奏でることができるのです。

#### (3) 協調性と連帯感

吹奏楽部は、みんなで一つの音楽をつくる部活動です。周囲と音を合わせて演奏するのが合奏です。それは、仲間と気持ちを合わすことから始まります。

また、吹奏楽部では1年生から3年生まで、全員レギュラー選手です。皆と一緒に練習し、皆と一緒にいろいろな体験をすることによって、皆と同じ感動を味わうことができるのです。いつも「仲間とともにいる自分」を意識してください。

#### (4) 礼儀とさすがしさ

あいさつや返事は、気持ちを込めてはきはきとしてこそ意味があります。先生方に対して、地域の方に対して、そして仲間に対して・・・礼儀正しく、さわやかな声を響かせましょう。また、そうした実践が、□□中学校全体を明るく活力ある学校にするのです。

(中略)

#### (11) 学習との両立

「部活動が忙しくて学習できない。」や「学習しないといけないから部活動ができない。」は両方とも正しい意見でしょうか。学習と部活動を両立させることは、簡単にできることではありませんが、時間の使い方の工夫や、集中力を高めることなどによって両立できるものです。授業や家庭学習を効率的にやり遂げる人は、部活動においても自分自身が工夫することにより、上達していく場合が多いのです。

吹奏楽部スローガン

**「輝く仲間 豊かな音楽 呼ぶ感動」**

## ⑪ 部活動における安全対策資料

### 各部の特性を踏まえた具体的な安全対策

#### 1 チェック

部活動を振り返り、危険な活動場面及び施設・設備について  
**チェック項目を洗い出す。**

- 例
- a 竹刀の劣化やささくれができていないか。
  - b サッカーゴールが固定されているか。
  - c 安全な状況で、的中の確認がなされているか。
  - d 気象情報の確認はされているか。
  - e 心の緩みがないか。

#### 2 確認

チェック項目に基づいて、状況等を**生徒とともに確認する。**

#### 3 対策

不備な内容については、保護者の意見も参考にしながら、生徒  
とともに**具体的な安全対策を講ずる。**

- 例
- a 練習の前に竹刀の劣化やささくれがないか、顧問及び複数の生徒により確認（二重チェック）する。
  - b サッカーゴールが固定されているか、顧問及び複数の生徒により確認（二重チェック）する。
  - c 中の確認をする者が安全な位置にいて、赤旗等が設置され、適正に使用されているか、顧問及び複数の生徒により確認（二重チェック）する。
  - d 顧問が練習前や練習中に、注意報や警報等をはじめとする気象情報を確認する。
  - e 練習前に、キャプテンや顧問を中心に、安全に関するモチベーションを高めるための声かけを行う。

#### 4 情報共有

部活動における安全対策についての情報を顧問・生徒・保護者  
で共有することはもちろんであるが、万全を期すために教職員間  
でも**情報を共有する。**

※ 保護者の意見を参考にするため、学校と保護者の連携協力による安全体制を整備する。

（例：「部活動通信」等に保護者の意見を求める欄を設けるなど、双方向の情報交換ができるようにする。）

## ⑫ 体罰事例にみられる課題

昨今の多様化している生徒の状況を見ると、部活動をする上で、教員と生徒が意見等の食い違いにより、ぶつかる事態が起こりうることは想像されるようです。

実際に、学校現場で体罰に及んだ事例を見ても、積極的に生徒と関わり合う中で、教員が起こした事例も少なくありません。生徒との関わり方について、体罰事例から見た課題と根絶に向けた方策を提案します。

### ※事例から見た体罰の発生状況

- ① 生徒を指導しようとしたが、それが受け入れられなかったことから、腹を立てて思わず殴ってしまった。

#### 【解説】

- 生徒を指導したが、当該生徒が指導に従わなかったり、反抗したりしたことから、腹を立てて体罰に及ぶケースです。
- 教員としての生徒指導の力量を問われることも多いケースです。

- ② 悪いこと(危ないこと)をした子どもに対しては、厳しく指導する必要があることから、罰を与える意味でげんこつで頭を殴った。

#### 【解説】

- 生徒の行為を問題にして、制裁の意味で体罰に及ぶケースです。
- 体罰を指導と勘違いをしており、生徒に自分自身の行動の問題点をどのようにして納得させるかが課題となります。

- ③ 部活指導中、生徒が集中力を欠いたプレイをしたことから、気合を入れる意味で平手で頬(ほお)を叩いた。

#### 【解説】

- 部活動の指導の中で見られたケースです。
- 生徒の集中力を高め、瞬発的な力を発揮したり、けがをしたりしないようにするといった理由で行われたことが多いようです。
- 生徒の意欲や集中力をどのように高めることができるかといった指導者の指導力が課題となります。

体罰が発生する状況は、個別に様々な問題を抱えていることが多く、単純に分類することは難しいのですが、多くは、前記①～③の状況が重なり合った場合に発生しています。

これ以外にも、「④ 乱暴な言葉遣いや態度で、生徒を威嚇するかのような言動をとる。」中で体罰に至るようなケースも見られます。

また、体罰が発生しやすい状況を作り出す学校の体制の問題として、「⑤ 特定の教員（生徒指導主任、若手の教員など）だけが中心となって厳しく指導しているが、その他の教員はあまり指導しない。」という状況が見られることもあります。このような風潮がある学校においては、得てして体罰を容認する風潮が見られます。

さらに、学校外の問題として、部活動指導等の中で、「⑥ 少々の体罰は容認するような保護者の雰囲気がある。」などの状況が見られる場合もあります。

#### 【課題】

- 体罰によるのではなく、児童生徒が意欲をもって活動できるような指導方法を、個々の教員が身に付けることが必要です。
- それぞれの教員が、生徒を叱ったり、説論したりする技術や知識をもつことが必要です。
- 校内で生徒指導の理念や方針が統一され、共通認識の下で、個々の教員が生徒や保護者に、教員自身の言葉で伝えられることが必要です。



#### 【提案】

##### （１）生徒の指導方法について、意識的、継続的な研修を実施する。

- 生徒指導の中で、児童生徒の話を聞くこと、悪いことは悪いときちんと叱ること、筋道を立てて説論することなど、教員としての基本的な指導方法について、定期的に研修を行います。
- 児童生徒が意欲的に取り組むよう指導し、結果を出している部活動指導者などから、その手法を学びます。
- 体罰を行った教員は、体罰を使わない自分の指導方法を確立することを課題として、意識的に取り組み、その結果を出します。

##### （２）生徒の指導は、組織として対応する。

- 生徒の指導を特定の人に任せず、全教員で指導する体制をつくります。
- 学校として児童生徒を指導する方針を意思統一し、全員が同じように取り組むことが必要です。それによって教員組織の自浄作用も生まれることとなります。
- 部活動は個別の活動となることも多いことから、管理職が巡回するなどして、それぞれの活動の状況をきちんと把握し、必要に応じて全体で話し合ったり、個別の指導を行ったりします。

## ⑬ 部活動顧問セルフチェックシート

### □ 運動部活動顧問セルフチェックシートの例

#### 部活動顧問セルフチェックシート

★ ☆ 部活動の指導について当てはまらないか、チェックしてみましょう！ ☆ ★

##### 【課題を残す指導】

- 試合には、絶対に負けたくない。何としても勝ちたい。そのためには、厳しい指導は当然であり、頭ごなしに生徒を叱ることもある。
- 顧問の役割は、部員により高い競技力や技術力を身に付けさせることである。これ以外に部員に求めるものはない。
- 自分自身の競技力にも、指導力にも自信をもっているため、他の顧問や保護者の意見は聞く必要がない。もちろん、部員は自分の指示に従うべきである。
- 他校に勝つためには練習あるのみ。他校が練習しているのに休んでいては、絶対に勝てない。休養日は必要ない。
- 部活動では、何よりも規律を最優先すべきである。ずる休み、遅刻をする生徒や、後片付けをしない生徒は、上級生などから一方的に厳しく指導されても仕方がない。
- 部活動指導において、言葉遣いがきつくなることはやむを得ない。  
例えば、「こんなこともできんのか。」、「やる気がないなら帰れ。」、「勝つつもりがあるのか。」、「もう来んでもええ。」などと口にする。
- 試合や大会で負けると、指導者として結果を素直に受け入れられない。
- 試合や大会で負けた時は、今までの生徒の努力を評価することができず、生徒のミスや欠点ばかりが気になり、生徒を怒ってしまいがちである。

##### 【セクハラ】

- 特定の部員を個人的に指導することが多い。
- 異性の部員を個別指導する際に、配慮していない。

##### 【会計処理】

- 部費の会計管理は、すべて顧問一人で行っている。
- 各家庭等から徴収した部費については、会計報告を行っていない。

※ チェックが付いた項目について、もう一度考えてみましょう。



## ⑭ 部活動に関するアンケート

### □ 部活動に関するアンケート（無記名版）の例

#### 部活動に関するアンケート（無記名）

○月○日（○）

部活動についてのアンケートです。今回は無記名での実施とします。

①～②のあてはまるものを○で囲みましょう。

あなたの所属している部活動を記入してください。

部

所属していない

① 部活動は楽しいですか。

とても楽しい

楽しい

どちらかという楽しい

どちらかという苦しい

苦しい

とても苦しい

② あなたが部活動を行う上での悩みは何ですか。（複数回答可）

1 特に悩みはない

2 練習時間が長すぎる

3 休日が少なすぎる

4 遊んだり勉強したりする時間がない

5 練習内容、指導が厳しすぎる

6 合宿や他校との試合が多すぎる

7 思うほどうまくならない

8 練習時間が短かすぎる

9 練習内容がやさしすぎる

10 指導者が十分指導してくれない

11 指導者の意識の加熱など

12 部活動顧問の先生が意見を聞いてくれない

13 生徒同士の人間関係

14 保護者が熱中しすぎる

15 疲れがたまる、体がだるい

16 活動場所が狭い

17 費用がかかりすぎる

18 ケガで活動ができない、なかなか治らない

19 眠くて授業に集中できない

20 学業との両立

21 家族に活躍を期待されている

22 家族の理解がない

23 その他（

）